

# 子宮がん検診・乳がん検診の自己負担金が無料になります

～女性特有のがん検診推進事業について～

## ■女性のがんの動向

「がん」は、わが国において、昭和56年から死亡原因の第1位で、がんによる死亡者数は年間30万人を超えています。

がん死亡の部位内訳を年齢階級別にみると、女性では、40歳代で乳がん、子宮がん、卵巣がんの死亡が約半数を占めています（図1参照）。

「乳がん」は、女性ホルモンの刺激を受けてできる乳腺のがんで、40歳代後半にもっとも発生しています。女性にできるがんの中で、一番多く、日本女性の20人に1人がかかる計算になります。

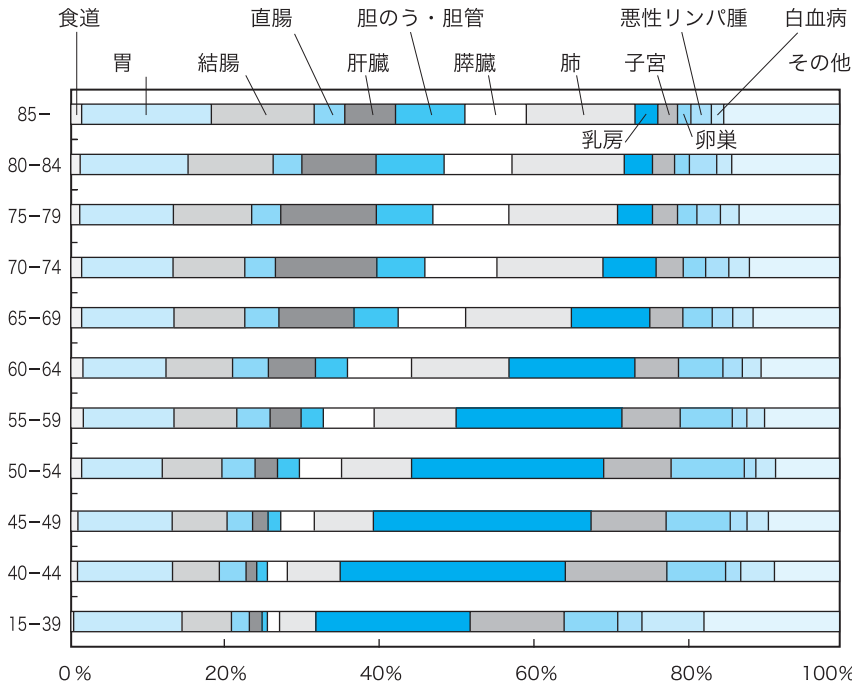
「子宮がん」は、胎児を収める子宮体部にできる「子宮体がん」と、子宮の出口の部分にできる「子宮頸がん」に分かれますが、子宮にできる7割が子宮頸がんです。子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルスの感染が主な原因とされ、過去20年で見ると、20、30歳代に急増しています。

## ■低い検診受診率

子宮頸がん検診、乳がん検診は、大腸がん、胃がん、肺がん検診と並んで、検診がとりわけ有効ながんです。

しかし、日本のがん検診受診率は先進国の中では最低レ

図1 年齢階級別がん死亡 部位内訳（2006年）



## ■女性特有のがん検診 推進事業

ベルで、子宮頸がん検診の場合、米国では84%の女性が受けているのに、日本では21%です。特に20歳代の女性の受診率は11%と極めて低い状況で、米国では減っているがんの死亡者数が、日本では増えているのです。

そこで、国では「経済危機対策、健康長寿・子育て支援」の一環として、日本のがん検診受診率を50%に上げることが目標に、女性特有のがん対策が講じられることになりました。

この施策により、全国の市区町村で、前年度に（昨年）4月2日から今年の4月1日までの間に（20歳、25歳、30歳、35歳、40歳になった女性の方の「子宮頸がん検診」、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった女性の方の「乳がん検診」の検査料金を無料（国の全額負担）にすることになりました。

この施策を受け、町ではさらにこの制度の対象者を拡大し、今年度の「子宮頸がん検診」「乳がん検診」受診者全員の自己負担金を無料にすることにしました。ただし、今年度は集団健診のみを対象とさせていただきますので、病院等での受診や人間ドックなどで受診された方の自己負担金は、対象にはなりません。家族調査票等ですでに受診

を希望されている方は、当日の子宮がん検診、乳がん検診の自己負担金は無料になります。まだ、申し込みをされていない方で、受診を希望される方は、左表の日程表をご確認のうえ、検診日の2週間前までに申し込みください。

なお、国の施策の対象年齢の方については、後日「検診手帳」等を郵送しますので、ご活用下さい。この機会に、是非検診を受けましょう。問い合わせ・申し込み先 馬頭健康管理センター 0287・92・1188

### 《レディース健診日程表》

健診日	受付時間	会場	健診機関
9月1日(火)	8:00～10:00	すこやか共生館	宇都宮東病院
9月14日(月)	7:30～10:00	馬頭健康管理センター	栃木県保健衛生事業団
10月2日(金)	8:00～10:00	すこやか共生館	宇都宮東病院
10月31日(土)	8:00～10:00	すこやか共生館	栃木県保健衛生事業団
11月14日(土)	7:30～10:00	馬頭健康管理センター	栃木県保健衛生事業団

※対象年齢：20歳以上  
 ※内容：基本健診（胃/肺/大腸/子宮/乳）がん検診・肝炎検診・骨粗しょう症検診

# 地域県政懇談会を開催

地域住民の県政に対する率直な意見、要望、苦情等を聴くことにより、地域住民の実情を的確に把握し、それらを県政に反映させるとともに、地域住民の県政への参加意識を高めることを目的に7月9日、役場2階会議室にて地域県政懇談会が開催され、町内各種団体の代表者ら12名が出席し、県との意見交換をしました。

懇談会での主な意見と回答は次のとおりです。

**Q 国道293号馬頭バイパス工事は一部開通したが、その後の工事見込みは？**

**A** 一期工区は昨年度開通した。二期工区（吹場縫製跡、都橋付近）については、H24年度の開通を目標に用地買収を進めている。

**Q まほろばの湯から国道293号バイパスまでの道路が計画されているが、早期着工・完成をお願いしたい。**

**A** 県道矢板・那珂川線の新那珂橋から国道293号の若鮎大橋までの延長約800m間は、今年から国庫補助が採択となり、取り組みを始めた。

**Q 県道福原・小川線の整備予定は？**

**A** 平成20年度に予備設計を実施、河川が平行しているため、河川課との協議をして概略的な設計は完了。今後、道路整備計画や道路幅員等の詳細を詰める予定です。

**Q 県道小川・大金停車場線の整備予定は？**

**A** 昨年度、事業説明会を実施し、予定区間1.5kmのうち、狭い区間800mを先行して整備する予定です。現在、

道路の詳細設計を進めており、近々計画を地元で説明し、用地調査・買収を進めていく。

**Q 老人ホームや老人保健施設の増設について**

**A** 県ではH20年度に実施した特別養護老人ホーム入所希望状況調査を踏まえ、今年3月に策定した「はつらつプラン21」で、在宅での生活が困難な方のために特別養護老人ホーム等の定員をH26年度までに計画的に増やしていく予定です。

**Q 県営馬頭最終処分場の整備状況について**

**A** 現在の用地取得率は60%程度でなかなか地権者の協力が得られず買収が進んでいないが、施設の設置許可申請書がH20年2月に提出されており、県北環境森林事務所で審査中という状況です。

**Q 県道那須・黒羽・茂木線の危険な和見地区については、圃場整備と併せて道路改修を地元は要望している、進捗状況を教えて欲しい。**

**A** H20年度に国の補助を受け、用地の取得を進めているが、現況と公図が混乱している地域のため、用地取得に苦慮している。解決策として地籍調査の導入を町に申し入れている。

（県の要請を受けて、町では和見地区の地籍調査の順番の繰り上げを検討している。）

**Q 県道那須・黒羽・茂木線の富山日暮れ地区には狭い箇所が2箇所あり、大変危険な状態である。全面改修でなくとも、特に狭い箇所を改修して欲しい。**

**A** 抜本的な改修は非常に期間と費用を要する箇所です。非常に狭い2箇所については、山側に拡張する方向で調査を始めております。

**Q 知事の選挙公約でもある「子ども医療費の小学6年生までの無料化」を守ってほしい。**

**A** 持続可能な制度とするため、ある程度の所得のある方にはご負担いただきながら、小学6年生までは無料化する方針です。

**Q 那珂川町には500haの遊休農地がある。以前に養蚕していた農家があり、桑畑がそのままになっている。農地を整備するのに補助をお願いしたい。**

**A** 遊休農地対策は県単独事業でも実施している。国の新しい遊休農地対策事業が出来るので、条件が合えばそちらでも対応できるので、町の担当課へご相談いただきたい。

**Q 鷲子山には年間5万人以上の参拝者があり、矢又・大那地間は危険な箇所や狭い所が多いので、道路の整備・危険箇所の解消をお願いしたい。**

**A** この路線は、保全・維持管理で対応する方針である。国道293号から鷲子山に向って2kmぐらいの区間は道路敷をいっぱい使った路肩と待避所をいくつか整備しました。当面はこれに対応していただきたい。

**Q 国道461号の整備について**

**A** 国道461号の大黒橋前後の区間については、H17年から事業に着手し、本年度から本格的な用地交渉に入っている。これがまとまり次第、早ければ今年度中に大黒橋の架け替え工事を実施したい。また、地元に対する情報提供と計画の周知に今後とも努めたい。

**Q H24年度から里山整備事業が実施されると聞いているが、誘導標識や駐車場の整備等にも使えるようメニューを拡大していただきたい。**

**A** 「とちぎの元気な森づくり県民税」による「明るく安全な里山整備事業」があるので、今後、十分協議していきたい。

